

エシカル部会

部会長：附属高等学校	葭内ありさ
部会員：附属幼稚園	佐藤寛子・谷地理沙
附属小学校	足立愛美・岡部雅子
附属中学校	有友愛子
附属高等学校	葭内ありさ
大学	小玉亮子

2022 年度活動報告：

幼稚園

・高等学校の家庭科で生徒が作成したエシカルビデオを職員が視聴する、大学と企業が提携して取り組むフードドライブ活動に保護者が参加するなどの新しい取り組みを通して、保護者や職員の意識が変わるきっかけとなりました。

・2学期には、園児が遊びで使う毛糸を、中学生が染色してプレゼントしてくれるという交流をしました。互いに行き来し、やりとりを重ねることで、学内にいろいろな人が過ごしていることを知る機会になりました。



・園では引き続き、梅を収穫してジュースを作る、畑で野菜を育てて食べるなど、丁寧な暮らしを続けています。

小学校



・家庭科：6月に高等学校2年生と小学校5,6年生、1~2月に高等学校1年生と小学校5年生が交流授業を行いました。児童労働をテーマに附属高校の生徒と直接対話をする中で、身近な商品であるチョコレートの生産の背景を知り、エシカル消費（環境や人権などの社会に配慮した消費スタイル）など、自分たちにできる行動について考えました。

・2月に行われた教育実際研究会では、10月に取り組んだフードドライブについての授業実践を発表し、全国からご参加の先生方と研究協議の時間をもちました。エシカルラーニングラボ部会の小玉亮子教授と横浜国立大学の松葉口玲子教授による指導助言をいただきました。

小学校給食

・家庭科の高校生の小学校訪問授業と連携させて、フェアトレードチョコレートを用いた給食にしました（6月チョコレートコーティングパン、1月チョコレートケーキ）。子どもたちには、給食のおたより（パクパク通信）で、私たちが適正な価格でチョコレートを買うことが、カカオ豆を育てている人たちを支えることにつながっていくことを伝えました。

・大豆ミートを使った給食（マーボー麺）を提供しました（9月）。給食のおたより（パクパク通信）で、食の選択肢の一つに大豆ミートを入れることが地球環境の保全にもつながることを子どもたちに伝えました。



中学校

・中学校 3 年生が[南三陸ミシン工房](#)（東日本大震災で被災した女性の自立を支援する団体）から教材を提供していただき、「がんばっぺしपोर्ट」を作りました。また、中学校 2 年生が来年度の「がんばっぺしपोर्ट」を作りに向けて、[南三陸ミシン工房の方からお話をうかがいました](#)。

・中学校 3 年生が幼稚園の子どもたちに希望を聞いて白い毛糸を食用色素で染めて色とりどりの毛糸を届けました。幼稚園では、クリスマスツリーに飾るリース等にくれたそうです。

・中学校 2 年生が岩手県釜石市の工場で生産されている[国産さばの缶詰\(サヴァ缶\)](#)を使ったレシピを考えて夏休みに家庭での調理に取り組みました。家庭での調理に取り組んだ際に見つけた自分たちにできるエシカルアクションをエシカルアクションカードとしてまとめました。

・中学校 2 年生がお茶の水女子大学 SDGs 推進研究所と附属学校園が共同で取り組んだ[フードドライブ](#)実施に向けて、10 月の世界食料デー月間呼びかけポスターを作成しました。

・中学校 1 年生が、[小原木 My タコちゃんプロジェクト](#)(梅村マルティナ FS 気仙沼アトリエ)に取り組みました。また、梅村マルティナ FS 気仙沼アトリエの[10 周年記念プロジェクト](#)に東京大学教育学部附属中等教育学校のみなさんと参加しました。

・中学校 1 年生が、附属高等学校の生徒からエシカル消費をテーマに交流授業を行いました。高校生とのディスカッションから、自分たちにできるエシカルな行動について考えることができました。

高等学校

・高等学校 3 年生と 2 年生が、それぞれ 1 年生の家庭科の授業でアフリカ支援のエシカルブランド CLOUDY と連携して開発した商品が、3 月にアフリカ・ガーナの工場で製品化され届き、高校生は商品にメッセージを添える予定です。

東京渋谷 MIYASHITA PARK の CLOUDY 店舗での販売は来年度を予定しています。

・高等学校 2 年生は家庭科でそれぞれが考えるエシカルな服作りを行い、クラスでミニファッションショーやポスター制作を行いました。

・高等学校 2 年生は、6 月に附属小学校 5・6 年生に、「児童労働とチョコレート」をテーマに訪問授業を行い、交流から新たな気づきを得ました。

・高等学校 2 年生は、2 月に附属中学校 1 年生とエシカル消費をテーマに話し合う「エシカル会議」を行いました。

・高等学校 1 年生は、家庭科「家庭総合」と家庭科 SSH (スーパーサイエンスハイスクール) 学校設定科目「生活の科学」で、エシカル消費やサステナビリティについて体験も交えながら学びました。企業や伝統工芸の産地や工房、大学、化学科などと連携しながら、エシカルをベースとした多角的な STEAM 教育で学びを深めました。

- ・高等学校1年生は、1～2月に附属小学校5年生に「児童労働とチョコレート」をテーマに訪問授業を行い、事後にお手紙の交換を行いました。
- ・高等学校1年生代表生徒は、2月に、小学校6年生有志児童と海洋プラスチックに関する座談会を行いました。
- ・附属高等学校家庭科の葎内ありさ教諭が、本学に4月に設立された「SDGs 推進研究所」キックオフイベント（10月19日開催）「[お茶の水女子大学 SDGs 推進研究所設立記念キックオフシンポジウム—OCHA-SDGs の新たな挑戦—](#)」に登壇しました。

SDGs への取組、発表資料はこちら：

https://www.cf.ocha.ac.jp/sdgs/j/menu/for_sdgs/index.html

幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学

- ・エシカルラーニング・ラボ学内オープン企画 を実施しました。

エシカルを学ぼう！ 高校生作エシカルビデオ上映 ～幼・小・中・高・大の連携を紹介～

日時：7月5日（火） 16:30~17:40

場所 本館212（エシカルな木製階段教室）

対象：学内 大学教職員・大学院生・附属校舎教職員

主催：附属学校園連携研究テーマ別部会 エシカルラーニング・ラボ

部会長 葎内ありさ（附属高等学校教諭）

内容：エシカルラーニング・ラボでは、幼・小・中・高・大が連携して、園児や児童、生徒たちのエシカルマインドを育むことに取り組んでいます。今回は、高校生が家庭科で中学1年生の訪問授業のために作成した、エシカルビデオ（20分程度2本）を上映し、メンバー教員による、ミニトークを行いました。ビデオを作成した高校生は小・中・高と連携してエシカルを学んできた初めて学年です。

- ・本学 SDGs 推進研究所と連携し、10月にフード・ドライブを実施しました。